

令和4年度

事業報告

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

公益財団法人日本習字教育財団

目 次

(令和4年度事業報告)

一. 書道の通信教育及び実習指導.....	1
1. 通信教育.....	1
2. 実習指導.....	3
3. 教室への新入会者並びに教室の学習活動支援.....	4
4. 書道用具の頒布.....	5
5. Webサイトの運用.....	6
6. 習字の日.....	7
7. 展覧会の後援及び書道展の支援.....	7
8. 文化講演会の開催.....	7
9. 創立70周年記念企画.....	8
二. 書道に関する展覧会の開催.....	8
1. 書道展の開催.....	8
2. 席書大会の開催.....	10
三. 書道に関する機関誌その他の出版物の発行.....	11
四. 文字資料その他文化資料の調査研究と展示公開.....	12
1. 書道文化に関する調査研究.....	12
2. 文字資料その他文化資料の展示公開.....	12
3. 教育・文化施設の運営.....	13
五. 書道に関する教育・研究機関への助成.....	14
六. その他本法人の目的を達成するために必要な事業.....	14

一. 書道の通信教育及び実習指導

1. 通信教育

(1) 教材

各コースそれぞれ教材及び教師用指導書「教師月報」を配付した。通信教育会員向け機関紙「日本習字だより」と「たのしい習字」を毎月発行した。



(2) 学習方法

受講申し込みの後、教材配本→学習後、課題提出→認定・添削、質問への回答→返送を1か月の学習サイクルとして行った。臨書部の添削については希望者のみ行った。また書写技能基礎講座、書道臨書講座については最終課題提出時に修了試験を行った。



(3) コース

No.	通信教育の名称	期 間
1	日本習字幼児部	1 2 か月
2	日本習字小学1年	1 2 か月
3	日本習字小学2年	1 2 か月
4	日本習字小学3年	1 2 か月
5	日本習字小学4年	1 2 か月
6	日本習字小学5年	1 2 か月
7	日本習字小学6年	1 2 か月
8	日本習字中学1年	1 2 か月
9	日本習字中学2・3年	1 2 か月
10	日本習字漢字部	1 2 か月
11	日本習字かな部	1 2 か月
12	日本習字ペン部	1 2 か月
13	実用書道くらしの書	1 2 か月

14	日本習字墨画部	12か月
15	日本習字臨書部	12か月
16	書写技能基礎講座〔楷書編〕(文部科学省認定)	6か月
17	書写技能基礎講座〔行書編〕(文部科学省認定)	6か月
18	書道臨書講座【楷書Ⅰ】(文部科学省認定)	5か月
19	書道臨書講座【楷書Ⅱ】(文部科学省認定)	4～12か月
20	書道臨書講座【隸書】	3～6か月

※No.14 日本習字墨画部は令和4年度をもって閉講

(4) 日本習字模範揮毫DVD (P1 No.1～11、12か月)、日本習字臨書部模範揮毫DVD (付録：解説付拡大手本・条幅、12か月) を頒布した。「日本習字漢字部 条幅課題拡大手本26」、「日本習字漢字部 条幅課題拡大手本27」を頒布した。

(5) 新入会者を対象とした教材「入門編(生徒手本課題集)」「入門編(成人手本課題集)」、学習指導書を発行し認定添削を行った。

(6) 資格認定

ア. 段級位の認定

(ア) 会員の課題出品に対して各コースそれぞれの基準に従って審査し、段級位を認定した。

(イ) 漢字部昇段試験を実施した。

受験有資格者に対し、昇段試験を実施した。(7月)

(ウ) 臨書部昇段試験を実施した。

初段～五段(5月・9月・令和5年1月)

六段位(7月)

七段位(7月)

(エ) 生徒部八段位昇段試験を実施した。

イ. 「くらしの書」実力の認定

希望者に対し、実力認定試験を実施した。(4月)

(7) 認定証の発行

ア. 所定の段級位(墨画部は伝位)合格者に対し、本人の申請により段級位等認定証を発行した。

イ. 「くらしの書」実力認定試験の合格者に対し、本人の申請により認定証を発行した。



(8) 免許状の発行

免許状取得資格者に対し、本人の申請により免許状を発行した。



(9) 合格之証の発行

ア. 漢字部の六段位、七段位、八段位の合格者に対し、本人の申請により合格之証を発行した。

イ. 臨書部の六段位、七段位の合格者に対し、本人の申請により合格之証を発行した。

(10) 雅号之証の発行

雅号を希望する者に対し、雅号之証を発行した。

(11) 表彰

通信教育受講者の中から、特に成績が優秀な者を第73回文部科学省認定社会通信教育修了者表彰に推薦し表彰された（主催：文部科学省、一般財団法人社会通信教育協会）。6月10日に予定されていた表彰式は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

書写技能基礎講座〔楷書編〕課程 1人

2. 実習指導



日本習字の研修施設、全国各地域及びオンラインで実習指導を行った。

- (1) 東京研修所 漢字部講座、漢字部研究講座、条幅講座、臨書講座、書写と書道を学ぶ講座、新支部長サポート講座を開催。
- (2) 福岡研修所 漢字部研究講座、漢字部実力アップ講座、条幅講座、かな部講座、かな専科、臨書講座、書写と書道を学ぶ講座を開催。
- (3) 沖縄研修所 漢字部講座、漢字部研究講座、条幅講座、かな講座に短期講座として新支部長サポート講座、めんそーれスクーリングを開催。
- (4) 各地講習会 全国各地にて実習指導（漢字部昇段試験対策講座、臨書講

座、かな部講座、初歩からの篆刻講座、検定の先生に学ぶ講座、条幅チャレンジ講座、昇段試験フォローアップ講座、習字教室開設研修会、新支部長懇談会)を開催。

また、海外の習字教室をオンラインで結び、現地在住の方を交えての作品制作など、書道体験を通じた国際交流を実施した(12月 オーストリア、トルコ、日本)。



3. 教室への新入会者並びに教室の学習活動支援

書道学習の機会拡大や継続学習の応援を目的に普及企画を実施した。

(1) 「お習字教室へ行こうキャンペーン」

キャンペーン参加教室に対して「生徒募集チラシ」の進呈等の運営サポートを行い入会特典として習字用具を進呈した(1月～9月)。

(2) はじめての「お習字体験教室」

教室開設2年目の指導者への活動の後押しとして、新入会者の獲得につながるよう、習字体験教室の開催を推進するためのスペシャルサポート(「新聞折込・ポスティング費用の補助」「会場賃貸料補助」)を実施した(2月～9月)。



(3) 「中学部受講促進」

小学6年生に、中学部課題の先行学習機会の提供や、中学部継続受講申し込み特典等の学習支援を行った。

中学部継続受講特典 「プレミアム中学観峰」

来春、中学校へ進学される小学6年生を対象に、中学部への継続受講を応援すべく「中学部」継続受講特典を準備しております。

▼「プレミアム中学観峰」の進呈

対象者 現在小学6年生の生徒会員で、2022年5月20日(金)までに、保護者様や小学6年生への継続受講を単会員(小学生)様から毎年3月号までにお申し込みいただいた方。

▼受講申し込み・進呈品の発送時期

受講申し込み時期	発送時期
2022年 2/18(金) までの受講お申し込み	3月上旬
2022年 3/14(金) までの受講お申し込み	3月下旬
2022年 3/18(金) までの受講お申し込み	4月上旬
2022年 4/15(金) までの受講お申し込み	4月下旬
2022年 4/20(金) までの受講お申し込み	5月上旬
2022年 5/11(金) までの受講お申し込み	5月下旬
2022年 5/20(金) までの受講お申し込み	6月上旬

※進呈品は、7月以降に限りお申し込みとなります。
※現在、小学6年生の生徒会員向けに、本会員の小学6年生専用、および、特別価格の小学6年生専用ボールペンが、限定で進呈させていただきます。

小学6年生が在籍している教室には、継続チラシを発送していますので、お早めにお読みください。

(4) 教室イベントの実施

教室での継続学習の後押しとして、書道の楽しさを実感できるイベントを推進するため、全国の教室に1年を通して24の教室イベントを案内した。

- ①春の教室イベント<イベント5種>
- ②こどもの日教室イベント<イベント2種>
- ③教室を彩る七夕飾り<イベント2種>
- ④夏の教室イベント「教室を夏色に飾ろう」<イベント3種>
- ⑤Web限定「おじいちゃんおばあちゃんにハガキを書こう」
- ⑥秋の教室イベント
- ⑦習字の日教室イベント<イベント4種>
- ⑧お友だちを誘ってカレンダーを作ろう
- ⑨新年を彩る画仙紙装を飾ろう
- ⑩生徒八段合格応援きっぷ<イベント3種>
- ⑪中学3年生限定「色紙」づくり

※コロナ禍の教室でのコミュニケーションを促すツールとして「7つのま
ちがいさがしく4種>」を3回配付（7月、12月、令和5年2月）



【教室イベントの様子】



4. 書道用具の頒布

会員に対し、書道の技能向上を図る上で最適な書道用具等を選定・推奨し頒布した。書道用具等は「選定品」「推奨品」「頒布会品」に区分しそれぞれ目的に応じて提供した。



【オンラインショップ】

(1) 選定品の頒布

書道技能向上を目的とした通信教育各コースの学習において、課題の履修のために欠くことのできない書道用具（筆・紙・墨・硯等）及び硬筆用具（鉛筆・ペン・用紙等）を頒布した。

(2) 推奨品の頒布

選定品以外に会員からの斡旋要望または書道作品制作及び書道学習の履修に必要となる用具を頒布した。

(3) 頒布会品の頒布

特別頒布会を実施し、競書大会・教室イベント・教室での作品展向けの書道用具・展示用具などの頒布会品を期間限定で斡旋した。春の特別頒布会では教室支援品、文房具等の頒布を行った。またオンラインショップ限定の頒布を年3回実施した。

ア. 「たなばた特別頒布会」 5月～7月

イ. 「かきぞめ特別頒布会」 10月～12月

ウ. 「春の特別頒布会」 令和5年2月～3月

5. Webサイトの運用

(1) 日本習字公式Webサイト

日本習字の紹介や全国の教室検索・受講申し込み・問い合わせ受け付け、展覧会やイベント等の告知ほか、SNSや日本習字公式動画チャンネルを活用して情報発信を行った。また動画広告やWeb広告により教室検索の利用促進や創立70周年特別入会キャンペーン企画の訴求とWebサイトの教室検索画面への誘導を行った。



【Web広告】

(2) 支部長専用Webサイト

指導者の利便性の強化を図り、円滑な教室運営をサポートすることを目的に専用サイトを運営した。作品の受付状況、定期外手本の送付名簿、各種試験の受付状況、各種チラシの発送状況などのメニューを新設した。

6. 習字の日

日本習字制定の記念日「習字の日（11月2日 いい（11）もじ（2）の語呂合わせ）」に関連して、「手書きの文字」のよさや重要性を伝え、その文化を伝えるべく下記の企画を実施した。

（1）「手紙をかこう」ツールの配付
手紙やはがきで思いを伝えるツールを習字教室はじめ広く活用を促した。一般に向けては郵便局（東京麹町郵便局・京都中央郵便局・福岡中央郵便局）にポスター掲示とツールを設置（10月～11月）。



【手紙をかこうツール】

（2）書道イベントへの協賛

書道の未来を担う若者を応援するため、全国高校書道パフォーマンス選手権大会へ協賛した（7月24日）。



【全国高校書道パフォーマンス選手権】

7. 展覧会の後援及び書道展の支援

福岡矯正管区文芸コンクールをはじめ各種団体等が実施する書道展覧会等に対し、後援・審査等の支援をした。



8. 文化講演会の開催

「特別公開講座」を10月29日、大阪市で開催した。講師は専門作業療法士の鴨下賢一氏で、テーマは『幼児期から小学校低学年の成長段階の書字指導及び児童の心理～成長段階にあった練習とは～』。



9. 創立70周年記念企画



【70周年ロゴマーク】



【Web広告】



【TVCM】

令和5年9月1日に迎える創立70周年に向け、記念企画の目的と骨子を作成し、内外にアピールするためロゴマークを制作して各種記念企画の立案を行った。習字教室への新規入会者の募集活動の後押しとして、創立70周年記念特別入会キャンペーンを全国すべての教室を対象に実施（11月～令和5年9月）。効果的に展開するため、Web広告の配信やTVCMを制作して一部地域での放映も併せて行った（11月～令和5年3月）。

二. 書道に関する展覧会の開催

1. 書道展の開催

(1) 第12回観梅展（日本習字 条幅作品展）の開催

成人会員・高校生及び特待生会員を対象に自己研鑽の発表の場として作品を募集し、地区展覧会において優秀作品を展示発表した。

ア. 募集方法 指導者・会員に募集要項などを配付し、機関紙「日本習字だより」とホームページに開催告知を掲載した。
また、SNSで発信し応募者を募った。



【募集ポスター】

イ. 募集期間 8月1日～9月20日

ウ. 出品料 半切・茶掛 4,000円（税込）

全紙・連落・全懐紙 5,000円（税込）

※高校生・特待生会員は半額、表装料は別途必要

エ. 応募総数 2,978点

オ. 審査 観梅展審査委員会

カ. 審査結果 観梅大賞30点他各賞

キ. 作品発表

(ア) 入賞作品（秀作賞以上）・清風賞を対象に、地区展覧会を5会場で開催した。（いずれも令和5年）、また、会場では観梅大賞作品解説

映像を放映した。

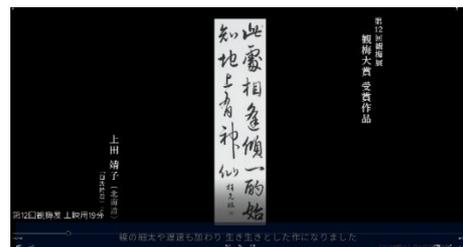
開催日	展名	会場
2月12日	京都展	京都市勧業館（京都市）
2月26日	福岡展	F F Bホール（福岡市）
3月5日	東京展	国際ファッションセンターKFC Hall（墨田区）
3月19日	沖縄展	沖縄書道会館（沖縄市）
4月9日	札幌展	札幌市民ギャラリー（札幌市）



【札幌展】



【東京展】



【観梅大賞作品解説映像】

(イ) 観梅大賞作品、受賞者名を機関紙「日本習字だより」及び公式Webサイトに掲載発表した。

(2) 第9回公募日本習字硬筆展の開催

日常生活に密着した硬筆学習への興味や意欲を喚起することを目的に、広く一般から作品を公募し優秀作品をWeb展で発表した。

ア. 募集方法 書塾及び書道関係者に募集要項を配付し、開催告知を公式Webサイト、機関紙、一般紙等に掲載



した。また、SNSで発信し応募者を募った。

イ. 募集期間 8月1日～9月20日

ウ. 後援 文化庁、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、

- 全日本中学校長会、全国連合小学校長会、朝日中高生新聞、朝日小学生新聞、京都府、福岡県、その他報道機関 8 社
- エ. 出品料 幼児、小学・中学・高校生 500円（税込）
一般（大学生含） 1,000円（税込）
- オ. 応募総数 56,659点
- カ. 審査 日本習字硬筆展審査委員会
- キ. 審査結果 大賞12点他各賞
- ク. 作品発表

(ア) 特別賞、入賞者（秀作賞以上）を対象にWeb展を開催（期間：令和5年2月～令和6年1月）



- (イ) 大賞を機関紙「日本習字だより」「たのしい習字」、公式Webサイトに掲載発表した。
- (ウ) 大賞を含む特別賞受賞作品・受賞者氏名を印刷物として作成し応募者（団体）に配付した。

2. 席書大会の開催

(1) 第23回日本習字全国席書大会の開催

小学生以上の会員を対象に参加者を募集し、全国6会場で実施した。制限時間20分のもと、学年ごとに決められた課題を手本なしで書き上げ、一斉に披露した。福岡会場ではオンライン（ビデオ会議システム活用）との併催とし、後日、その模様をWeb上で動画配信した。

ア. 募集方法 指導者・会員に募集要項などを配付し、機関紙「日本習字だより」「たのしい習字」に開催告知を掲載した。またSNSで発信し参加者を募った。

イ. 後援 北海道教育委員会、愛知県教育委員会、兵庫県教育委員会、福岡県教育委員会、沖縄県教育委員会、報道機関17社



【募集ポスター】

ウ. 開催実績（いずれも令和5年）

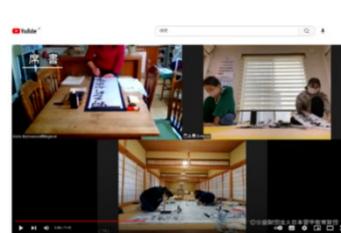
	大会名	会 場（開催地）
1月 4日	札幌大会	札幌市厚別区体育館（札幌市）
1月 5日	東京大会	東京スポーツ文化館（江東区）
1月 6日	神戸大会	神戸常盤アリーナ（神戸市）
1月 7日	名古屋大会	名古屋国際会議場（名古屋市）
1月 9日	福岡大会 オンライン	福岡国際センター（福岡市） 自宅や習字教室など
1月14日	沖縄大会	ANA ARENA 浦添（浦添市）



【沖縄大会】



【福岡大会】



【Web上で動画配信】

エ. 審査 日本習字全国席書大会審査委員会

オ. 審査結果 大賞9点他各賞

カ. 作品発表

(ア) 席書大賞・席書準大賞・審査委員会奨励賞受賞作品、受賞者名を機関紙「日本習字だより」「たのしい習字」に掲載発表した。

(イ) 席書大賞、席書準大賞の受賞作品を第12回観梅展地区展会場で展示した。

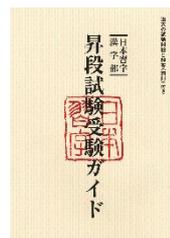


【大賞、準大賞作品展示の様子】

三. 書道に関する機関誌その他の出版物の発行

補助教材として出版物を発行した。主な出版物は次のとおり。

- (1) 漢字部昇段試験受験用教材として「日本習字漢字部 昇段試験受験ガイド（別冊過去の試験問題付き）」、生徒部八段位昇段試験用教材として「日本習字生徒部八段位受験ガイド」を発行した。



- (2) 幼児・児童向け教材として「はじめてのひらがな」、「だいすき！ひらがな」、「ひらがな練習帳1（五十音）」、「ひらがな練習帳2（ことば）」、「カタカナ練習帳」を発行した。
- (3) 漢字学習教材として日本習字漢字練習帳「1年生のかん字」を発行した。（その他2年生～6年生まで）。



四. 文字資料その他文化資料の調査研究と展示公開

1. 書道文化に関する調査研究

博物館観峰館の収蔵資料の中から中国書画をはじめ、日本の教科書など筆墨文化に関する資料を分類整理し調査研究を行った。



(1) 関西中国書画コレクション研究会への参加

近代中国書画に関して他の博物館及び大学等研究機関との連携による共同研究に参加した。加盟館9館：京都国立博物館ほか

(2) 国立歴史民俗博物館共同研究への参加

「秦漢時期の文字使用をめぐる学際的研究」として、館蔵秦封泥資料を対象とした共同研究に参加した。

(3) 収蔵資料のデータベース化

収蔵資料の内容・作者・法量・制作年などをデータベース化した。

(4) 『観峰館紀要』第17号を刊行し、研究者・関係機関等に進呈した。

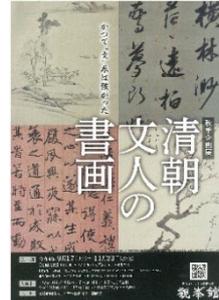
2. 文字資料その他文化資料の展示公開

(1) 常設展示（主な展示資料）

- ア. 近代中国の書画、中国の文字資料、復元石碑
- イ. 「避暑山荘」・「三希堂」の復元資料
- ウ. 原田観峰書作品

(2) 企画展示を下記のとおり実施した。

	会 期	名 称
1	4月16日～6月12日	春季企画展「隠元隆琦 350年遠諱 黄檗インパクト」
2	7月2日～9月4日	夏季企画展「きれいな字ー近代中国と日本の書ー」
3	9月17日～11月23日	秋季企画展「清朝文人の書画」



(3) バーチャル観峰館の公開

常設展示・企画展示の内容を遠方からでも閲覧できる、バーチャルツアーサイトを作成し、Webサイト上で公開した。



【バーチャル観峰館】

(4) 館外展示

第12回観梅展京都・福岡・東京会場にて収蔵書画作品を特別展示し、解説を行った。

3. 教育・文化施設の運営

博物館観峰館の施設運営並びに館内で各種体験学習教室、各種イベントを開催した。

(1) 概要

- ア. 開館日 4月16日～11月23日
- イ. 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
展示替え期間（6月13日～7月1日ほか）
資料調査・整理休館（11月24日～令和5年3月31日）
- ウ. 開館日数 164日
※淡海書道文化専門学校卒業展のため7日間臨時開館
- エ. 入館料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生無料
特別企画展は各1,000円、800円、無料

(団体割引、その他各種入館割引を実施)

オ. 入館無料日 関西文化の日ほか、年間計5日

(2) 書道に関する体験学習教室の開催

瓦当拓本教室、石碑採拓教室などを適宜開催した。

(3) 各種イベントの開催

ア. ギャラリートーク&ミニコンサート 3回

イ. アンティークオルゴール鑑賞会 2回

ウ. 「夏休み子ども博物館」クイズラリー

エ. 土曜講座 6回

オ. オンライン講座 16回

カ. 第27回観峰館かきぞめ大会 (出品は郵送)

(4) 博物館学芸員実習生の受け入れ

3名を対象に実施した(8月)。

(5) 地域及び教育機関と連携した学習・研修機会の提供

栗東歴史民俗博物館歴史文化講座出講・五個荘文化祭歴史公開講座出講・東近江市博物館共同イベントワークショップ参加・淡海書道文化専門学校石碑採拓実習指導。

(6) 展示資料解説

各種団体・グループ来館者に対し館内の案内、資料解説を行った。



【石碑採拓教室】

※観峰館は令和5年2月24日、文化庁より公開承認施設に承認された。

五. 書道に関する教育・研究機関への助成

「公募 公益財団法人日本習字教育財団 学術研究助成」の「学術研究助成成果論文集 Vol.8」を制作した。

六. その他本法人の目的を達成するために必要な事業

当該年度は活動なし